

4. 大学図書館職員に求められるコンピテンシー

表 1-1 専門的コンピテンシー・モデル

コンピテンシー		行動特性
A.経営管理 大学図書館は、大学の使命・目標を学術情報基盤整備の側面から支援することをその任務としている。したがって、大学図書館職員は、大学との関連で図書館の使命、目標を設定し、その達成に努める。 また、大学図書館が人類の知的資産を継承し、次世代に伝える使命と知的生産物の公正利用を推進する役割を果たすものであることを理解する。	A-1.ビジョン	大学の目標を達成するために、図書館がどのような役割を果たすべきか、大学のビジョンに対応した長期及び短期計画を策定する。
	A-2.使命	図書館の使命、価値及びビジョンを理解し、その達成に尽力する。
	A-3.評価	大学や利用者の要請に responding かどうか、パフォーマンス測定や利用者の満足度調査等のツールを用いて、情報資源、サービス及び業務処理を定期的に評価する。
	A-4.情報戦略	学術情報基盤の整備に関連して、大学の要請に応え大学の情報戦略課題について積極的に関与する。
	A-5.合意形成	利用者(学生、教職員等)や大学役員に対し、図書館活動及び施策を理解し、支援してもらえるように働きかける。
	A-6.財源確保	図書館の情報資源の充実やサービスを拡大するために、外部資金を含む多様な財源を確保する。
	A-7.コンプライアンス	著作権及び知的所有権に係る諸問題について、法律に遵守努めるとともに、問題解決に当たり助言を行う。
B.情報資源の管理 大学図書館職員は、大学の教育研究に必要な情報資源を収集、組織化し、検索可能な形で提供するために必要な知識を持つ。電子ジャーナルに代表されるデジタルコンテンツが急速に拡大したことから、従来の印刷体資料に加えてデジタルコンテンツの流通、選択、評価に係わる知識もそれに含まれる。 電子ジャーナルは、大学としての整備方針のもとに導入することが重要であり、そのために学内の合意形成を図る能力、コンソーシアムへの参加や出版社等との交渉能力が求められる。	B-1.蔵書構築	大学における多様な情報資源について、作成あるいは収集から組織化、保存、提供、廃棄にいたるライフサイクル全体を適正に運用管理する。
	B-2.主題知識	情報資源の内容と形態について専門知識・主題知識を有し、情報資源を評価し、選定する。
	B-3.情報資源流通	急速に変化する電子的情報資源の流通状況をモニタし、積極的かつ適正な導入を図る。
	B-4.ニーズの把握	大学等における学生、研究者の学習過程及び研究過程を理解し、その情報ニーズに対応した適切な情報資源を動的かつ多面的に導入する。
	B-5.研究成果情報	既存の情報資源だけでなく、大学の教育研究活動の成果として生産される多様な情報資源、とくにデジタル情報資源の収集、蓄積、保存及び発信について中心的な役割を果たす。
	B-6.コンソーシアム	情報資源やサービスの購入及び契約について、コンソーシアムに参加する等により有利に交渉を進める。
	B-7.特殊資料	古典籍等の特殊資料について適切な取り扱い、保存、利用方法を策定し、実施する。

コンピテンシー		行動特性
C.情報サービスの運用 大学図書館職員は、利用者の情報ニーズや情報利用行動の理解に基づいたサービスを実現する能力、情報技術を活用して、より良いサービス、高度で新しいサービスを開発・運用する能力が求められる。また、利用者が膨大で多様な情報を効率的に検索、評価、活用できるように情報リテラシーの習得を支援するための知識・スキルが求められる。	C-1.情報サービスの開発・運用	利用者の情報ニーズ及び利用者の情報探索行動に対応した効果的な情報サービスを開発し、運用する。
	C-2.アクセスツール	保有する全ての情報資源について、効率的なアクセスツールを提供する。
	C-3.情報資源提供	利用者の多様な情報ニーズと理解能力に対応した情報資源を提供する。
	C-4.インタビュースキル	効果的なインタビュースキルを有し、利用者の本当のニーズは何か明らかにする。
	C-5.情報リテラシー習得支援	利用者に対し、情報資源の利用と評価方法を教える等により、情報の収集、評価、活用といったいわゆる情報リテラシーの習得を支援する。
	C-6.利用者中心のサービス	図書館サービスの中心に利用者を置き、常に利用者中心のサービスを展開する。
D.情報通信技術の活用 大学図書館職員は、インターネットや標準的な情報通信技術を活用して、サービスの高度化、適切なアクセスツールの提供を行う。関連する情報通信技術について継続的にモニタし、最新の動向の把握に努める。	D-1.システム開発	最新の情報通信技術を活用して、利用者サービスや情報アクセス、業務処理の改善及び新たな情報サービスの開発を行う。
	D-2.情報利用環境	インターネット、データベース、メタデータ、情報検索等に関する専門知識に基づき、情報利用と情報アクセスの改善を図る。
	D-3.国際標準	情報システムの構築にあたっては、国際標準に基づくシステムを構築する。
	D-4.セキュリティ	個人情報の保護、情報セキュリティの確保に努め、新たな脅威を常に意識し、対応する。